

充実

スクールソーシャルワーカー配置事業



教育委員会事務局 学校教育課

1 予 算 額 14,952千円

2 目的及び効果 スクールソーシャルワーカーを1名増員し、貧困やネグレクト、ヤングケアラーなどといった家庭環境に要因がある児童生徒の支援体制を強化します。

3 事業概要 社会福祉士または精神保健福祉士の資格を持つスクールソーシャルワーカーを、学校からの要請に基づき教育委員会が必要と判断した学校へ派遣します。スクールソーシャルワーカーは、児童相談センターや社会福祉協議会、病院、警察などの関係機関と連携協力し、児童生徒が置かれた環境へ働きかけることで、不登校などの問題行動に対する支援を行います。

訪問活動回数

体 制	1名体制			2名体制			3名体制
年 度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
訪問活動回数	86	259	463	746	539	—	—

充実

外国人児童生徒教育推進事業



教育委員会事務局 学校教育課

- 1 予算額 74,480千円
- 2 目的及び効果 ベトナム語の語学相談員を新たに1名配置し、外国人児童生徒の支援体制を強化します。
- 3 事業概要 語学相談員は、日本語教育が必要な児童生徒に対して、通訳、翻訳、学習支援、進路相談等を行うことにより、外国人児童生徒の教育の充実を図ります。

語学相談員等の配置体制

		日本語 初期教室	学校 巡回	備考
所長		1名	—	
日本語指導員		2名	2名	
語学 相談員	スペイン語	2名	3名	
	ポルトガル語	2名	4名	
	中国語	1名	2名	
	タガログ語	2名	4名	
	ベトナム語	—	1名	R4から配置

※日本語初期教室では、日本語が不自由な児童生徒を対象に、約3か月間、集中的に日本語や日本の学校生活におけるルールを指導しています。

小牧南小学校改築事業



教育委員会事務局 教育総務課

- 1 事業年度 平成29年度～令和4年度
- 2 予算額 687,938千円
(継続費[令和2～4年度]4,856,300千円)
- 3 目的及び効果 昭和36年の竣工から55年以上が経過し、建物が老朽化しています。また、竣工以降、増築を繰り返し、教室等の配置が複雑になっています。さらに、名鉄小牧線の利便性の向上や周辺の土地区画整理事業の進展により、児童数が増加したことで、教室数が不足し、一時的な措置として、仮設校舎を建設し対応しています。
- これらの課題を解消し、安心して学ぶことのできる学習環境と快適に過ごせる施設環境を提供するため、小牧南小学校を改築します。

4 事業概要 令和4年4月から校舎・体育館を供用開始し、旧校舎・体育館の解体、外構整備を施工します。

構造 RC造(一部鉄骨造)地上4階建

延床面積 11,340.73㎡



完成イメージ

年度	R2	R3	R4
	校舎・体育館の建築工事		
			校舎・体育館の供用開始
			旧校舎・体育館の解体 外構整備

改築スケジュール